

2019年8月22日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行

丸の内本館ビル電力の再生可能エネルギーへの切り替えについて

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{みけかねつぐ}三毛 兼承、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけかねつぐ}三毛 兼承）は、今般、CO₂ を排出しない水力電源のみを用いた電力メニュー（東京電力エナジーパートナー「アクアプレミアム」）を邦銀として初めて導入し、丸の内本館ビル（東京都千代田区丸の内 2-7-1）で使用する全電力を再生可能エネルギーにより調達することといたしました。

これにより、年間約 6,300 トン^{*1}（杉の木約 45 万本相当^{*2}）の CO₂ 排出量を削減することになります。

MUFG は、金融機関の使命として、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することを経営ビジョンに掲げ、その実現に向けて取り組んでいます。また、環境への取り組みを経営上の重要な課題と認識し、環境への取り組み方針を「MUFG 環境方針^{*3}」に定めています。

環境保護、とりわけ気候変動問題への対応は、MUFG に与えられた社会的使命の中で、最も重要なものの一つであり、金融事業を通じて課題への解決策をお客さまへ提供するとともに、MUFG グループ各社の企業活動においても、温室効果ガスの排出をはじめとする環境負荷の把握と軽減に取り組んでまいります。

*1 2018 年度の年間使用電力量実績により算出

*2 年間 14kg/本の CO₂ を吸収（出典：林野庁）

*3 MUFG 環境方針 <https://www.mufg.jp/csr/policy/>

以 上